

諮 問 書

近年、子どもの読書離れや学力低下が指摘されていますが、子ども読書の推進は、子どもの豊かな創造力や感性を育み、考える力や知識を身に付けさせ、人間が成長していく上でも大きな役割を果たすものであります。この読書活動の重要性を考え、国において平成13年に法律が制定され、翌年には基本計画が公表され、5年間の施策の基本方向と方策が示されました。

出雲市には多くの市民が利用する公共図書館5館1室があり、その蔵書数は50万冊を超え、県内で最も図書館環境の恵まれた地域といえます。こうした中、学校図書館と公共図書館との連携を深めながら、子どもの読書環境を整備し、読書活動の推進を図っていくための「出雲市子ども読書活動推進計画」を策定し、総合的かつ計画的に取り組んでいく必要があります。

つきましては、この計画の策定にあたり、現在の状況を踏まえた、子ども読書推進の基本方針及びあり方について、下記の事項を中心に諮問します。

記

1. 子ども読書活動推進のための基本方針について
2. 子ども読書活動推進のための施策について
 - (1) 学校図書館と公共図書館との連携について
 - (2) 子どもの読書活動に関わる人材の育成について

平成18年(2006)6月29日

出雲市教育委員会

出雲市子ども読書活動推進計画検討委員会会長 様